

2016年度
世 界 史
(問 題)

〈H28103416〉

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～8ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべてHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
 - (2) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	● 良	⊗ 悪	○ 悪
マークを消す時	○ 良	⊗ 悪	○ 悪

5. 記述解答用紙記入上の注意
 - (1) 記述解答用紙の所定欄（2カ所）に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入すること。
 - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を書いてはならない。
 - (3) 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。

数字見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- (4) 受験番号は右詰めで記入し、余白が生じる場合でも受験番号の前に「0」を記入しないこと。

(例) 3825番→

万	千	百	十	一
	3	8	2	5

6. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
8. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

I 次の文章を読み、問A～Lに答えよ。解答はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークせよ。

1974年、西安郊外の始皇帝陵付近で偶然、兵馬俑の残片が発見された。その後の発掘・調査によって、今までに8000体ほどの等身大の兵士や軍馬の俑、銅製戦車などが出土し、始皇帝陵を護る一大軍団の存在が明らかになった。それらは実在の秦軍をモデルとしたものであろう。六国を統一した秦の強国化は、孝公に仕えた商鞅の変法からといわれる。しかし圧倒的な軍事力で天下は統一できても、そのみで天下を治められないことは、始皇帝死後わずか数年で滅亡した当の秦が証明している。

中国の皇帝・官僚による統治は、その後2000年以上続くが、軍事制度は王朝ごとに変わるといってよい。また、唐は均田制のもとで府兵制を施行したが、近年の研究ではソグド系の軍事集団の活躍などが注目され、史書に記載される制度のみが機能したわけではないことも分かる。宋は募兵制を採用し、本来は皇帝や首都を護る近衛兵である禁軍が、国軍として国境防衛にもあたった。モンゴルの元は遊牧国家の体制を基本としたので、行政組織は軍事編制単位と密接に関係していた。唐の府兵制と元の軍人世襲制を範とした明の衛所制は、軍戸が屯田を耕す自給体制をとったが、それは農民を軍糧徴収で困らせないという朱元璋の方針によるものである。満州族の清は、社会組織であると同時に軍制でもある八旗が軍の核となった。

目を西アジアに転ずると、オスマン帝国のイェニチェリが目につく。スルタン直属の精鋭軍として勢力を拡大し、16世紀後半以降は、権力を笠にきた横暴な振舞いや政治への介入が問題視され続けたが、廃止されたのは1826年であった。

問A 下線部Aについて、この皇帝の政策でないものはどれか。

1. 南海郡など3郡の設置
2. 皇帝陵の造営
3. 郡国制の施行
4. 焚書坑儒の実施

問B 下線部Bについて、正しい説明はどれか。

1. 性悪説を唱えた荀子の弟子の一人で、中央集権政策を進言した。
2. 法家の一人で、連帯責任や信賞必罰に基づく改革を行った。
3. 合従連衡策を説く一人で、その連衡策は合従策を破った。
4. 対匈奴強硬派の一人で、オルドス地方に軍を展開した。

問C 下線部Cについて、誤った説明はどれか。

1. 北魏由来の土地制度で、土地を支給された農民は夏と秋に規定の租を納めた。
2. 隋でも実施されたが、当初おこなわれた妻への土地給付は廃止された。
3. 世襲が許された土地を永業田と呼び、とくに高級官僚には官人永業田が与えられた。
4. 均田農民のなかから徴集された府兵は、租庸調を免除された。

問D 下線部Dについて、誤った説明はどれか。

1. 中央アジア、ソグディアナ地方出身のイラン系の人々である。
2. 史書には、中継貿易をになう国際商人として現れる。
3. ジハードを行うムスリムであり、長安に清真寺を建てた。
4. 節度使の安祿山、史思明はソグド系突厥人といわれる。

問E 下線部Eについて、正しい説明はどれか。

1. 宋の太祖趙匡胤は、後周禁軍の武将だった経歴から軍事力統御の重要性を理解していた。
2. 王安石新法の保甲法は、弱体化した禁軍に農民を訓練して入隊させる改革案であった。
3. 南宋の科挙官僚であり禁軍司令長官でもあった岳飛は、和平派の宰相秦檜と対立し殺された。
4. 宋朝の禁軍は、早くから火薬の使用を進め、世界一の小銃部隊がモンゴル軍を撃破した。

問F 下線部Fについて、国境を接していなかった国はどれか。

1. 高麗
2. 遼
3. 西夏
4. 金

問G 下線部Gについて、該当しない国ないし王国はどれか。

1. 突厥
2. 于闐
3. 烏孫
4. 柔然

問H 下線部Hについての説明として誤ったものはどれか。

1. 唐の府兵制を範としたという意味は、兵農一致を原則とすることで、屯田制がそれを実現した。
2. 元の軍人世襲制を範としたという意味は、軍戸が世襲制で兵部の管轄下に置かれたことを指す。
3. 衛所は、唐の折衝府にならい全国の100か所に置かれ、農民からの軍戸の撰別、訓練、動員にあたった。
4. 1衛は、百戸所112人、10百戸所で千戸所となり、さらに5千戸所5600人から成っていた。

問I 下線部Iについて、その事跡として不適当なものはどれか。

1. 四書大全編纂
2. 里甲制実施
3. 宰相廃止
4. 賦役黄冊作成

問J 下線部Jについて、誤った説明はどれか。

1. 満州八旗に加えてモンゴル八旗や漢軍八旗も創設された。
2. 八旗のほかに旧明軍を再編した緑營も正規軍となった。
3. ホンタイジは八旗制を制定して中国全土を征服した。
4. 八旗の旗人には旗地が与えられその生計の基盤となった。

問K 下線部Kについて、誤った説明はどれか。

1. ティマール制による徴税権付与の見返りとして兵力を提供したシパーヒーに替わり、軍の主力となった。
2. デヴシルメによって徴集された優秀なキリスト教徒をイスラームに改宗させ、そこから選抜して軍人とした。
3. 鉄砲で武装した最新の歩兵軍団がサファヴィー朝の騎馬軍団を撃破した。
4. スレイマン1世の帝国拡大政策を担い、ウィーンを包囲して陥落させ、ハンガリーを征服した。

問L 下線部L以前の出来事はどれか。

1. 改革を進めたセリム3世の殺害
2. ムスタファ＝レシト＝パシャによるギュルハネ勅令の起草
3. アブデュルメジト1世のタンジマートの開始
4. アブデュルハミト2世のミドハト憲法の停止

II 次の文章を読み、問A～Lに答えよ。解答はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークせよ。

18世紀のイギリスでは、対外的には17世紀以来築き上げてきたアメリカ13州植民地を失うなど、帝国の拡大は一時的に行き詰まりを見せた。他方、議会政治が発展し、農業、工業などで大きな変革が進行しつつあった。また1688年の名誉革命以来、「第二次英仏百年戦争」と呼ばれる英仏間の戦争が進行中であった。

この中で1783年、ピット内閣が誕生した。ピットは、新時代に合った議会改革を構想しながらも、他方で急進的な民主主義に向かうフランス革命を警戒し、フランスを包囲する第1回対仏大同盟（1793～1797）を結成した。そしてナポレオンのエジプト遠征を機に、第2回の同盟（1799～1802）が結成された。しかし1801年ピットが退陣したこともあり、英仏間に の和約が結ばれ、両国の関係は一時改善する。しかし1804年ナポレオンが皇帝に就くと、再び組閣したピットは、第3回対仏大同盟（1805～1806）を提唱し、フランスとの対決色を強めていく。ピットは戦争の行方を案じつつ「祖国よ、我が祖国よ！」と末期の言葉を残して1806年病死した。しかしその後も英仏間の抗争は、1815年のワーテルローの戦いを経てウィーン議定書が成立するまで続いた。

問A 下線部Aに関連して、アメリカ13州植民地の説明について誤っているものはどれか。

1. クウェーカー教徒であるウィリアム＝ペンらによって、ペンシルヴェニア植民地が作られた。
2. 南部プランテーションでは、タバコなどが栽培された。
3. 17世紀前半にハーバード大学などが創設されたことは、植民地人の教養の高さを示している。
4. 1765年、本国議会によって制定された印紙法は、アメリカ独立宣言まで強制され、植民地人の強い反発を招いた。

問B 下線部Bに関連して、18世紀イギリス政治について誤っているものはどれか。

1. アン女王の死去により、スチュアート朝は断絶した。
2. ハノーヴァー朝の始祖ジョージ一世の時代、内閣制度が発達した。
3. 初代首相と言われるウォルポールは、トーリ党に属した。
4. コーヒーハウスが隆盛をきわめ、政治的な議論が市民の間で交わされた。

問C 下線部Cに関連して、18世紀イギリス農業について正しいものはどれか。

1. 地主は、議会の決定を無視して第二次囲い込みを強行した。
2. 農業革命が起こり、多くの農民が都市に流入した。
3. ジェントリと言われる地主勢力は、地代の徴収に追われ、国政には関心を持たなかった。
4. ノーフォーク農法が開発されたが、収量は上がりず失敗に終わった。

問D 下線部Dに関連して、18世紀イギリス工業について正しい説明はどれか。

1. ダービー父子は、石炭採掘の近代化で著名である。
2. ワットの開発した蒸気機関は、まもなくニューコメンの改良した技術に取って代わられた。
3. カートライトが開発したミュール紡織機は、イギリス紡績業の水準を引き上げた。
4. 運河の建設が進み、工業原料、製品が大量に輸送されるようになった。

問E 下線部Eに関連して、1688年から1815年までの英仏間で対立した戦争に当たらないものはどれか。

1. シク戦争
2. カーナティック戦争
3. フレンチ＝インディアン戦争
4. ジョージ王戦争

問F 下線部Fに関連して、イギリスの議会改革について正しい説明はどれか。

1. 第1回選挙法改正は、トーリ党主導で進められた。
2. チャーティストは、人民憲章のなかで男女普通選挙などを要求した。
3. 第2回選挙法改正は、保守党ダービー内閣のときに実現した。
4. 第3回選挙法改正でも、農村の男性労働者の大半は選挙権を得られなかった。

問G 下線部Gに関連して、フランス革命における民主化の流れを時代順に正しく示しているのはどれか。

1. 人権宣言採択→1791年憲法制定→封建地代の無償廃止→封建的特権の廃止
2. 封建地代の無償廃止→人権宣言採択→封建的特権の廃止→1791年憲法制定
3. 封建的特権の廃止→人権宣言採択→1791年憲法制定→封建地代の無償廃止
4. 封建的特権の廃止→封建地代の無償廃止→1791年憲法制定→人権宣言採択

問H 下線部Hに関連して、ナポレオンのエジプト遠征について正しい説明はどれか。

1. 遠征の際、アブキール湾でフランス海軍は、イギリス海軍に完勝した。
2. 遠征の目的は、エジプト占領により、ここをイギリスのインド支配に挑む拠点とすることであった。
3. エジプトでナポレオンは、イギリス陸軍に大勝してフランスに凱旋した。
4. 遠征の際発見されたロゼッタ石とその碑文は、戦争の渦中に不明となった。

問I に当てはまる地名はどれか。

1. リュネヴィル
2. アーヘン
3. テイルジット
4. アミアン

問J 下線部Jに関連して、ナポレオン1世の皇帝在位中にヨーロッパで起こったことはどれか。

1. ライン同盟成立
2. 最高価格令の発布
3. ヴァルミーの戦い
4. ヴァンデー反乱

問K 下線部Kに関連して、第3回対仏大同盟時に起こったことはどれか。

1. 宗教協約（コンコルダート）
2. トラファルガーの海戦
3. ピルニッツ宣言
4. イタリア遠征

問L 下線部Lに関連して、ウィーン議定書の内容に当てはまらないものはどれか。

1. プロイセンがラインラントを獲得した。
2. ロシアがモルドヴァ公国からベッサラビアを獲得した。
3. ベルギーが独立を宣言した。
4. ロシアが、スウェーデンからフィンランドを獲得した。

Ⅲ 次の文章を読み、問A～Lに答えよ。解答はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークせよ。

近代における立憲的な意味での憲法の特徴は、諸個人の権利や人権を尊重し、ときの統治者や国家などが有している権力に対して必要な制限を加え、権力の分立を内容として含んでいるということにある。そのような憲法の萌芽は、その制定から2015年で **B** 年という節目を迎え、同年、ブリティッシュ・ライブラリーにおいてそれを記念した展示がなされた **C** マグナ・カルタにみることができる。そして、その思想は時代と大陸をまたぎ、**D** 三権分立を強調する形で立法化されたアメリカ合衆国憲法にも受け継がれている。

ところで、アメリカでは、1776年の大陸会議において **E** 独立宣言が採択された後、翌年には **F** 連合規約の起草が始まり、3年後に13州すべてがそれを批准したものの、各州の権限は強いままであった。そのため、初期の中央政府の影響力は限定的なものであった。その後、1787年に合衆国憲法が制定されたことにより、連邦としての **G** 行政府、議会および **H** 裁判所がそれぞれ誕生し、国家としての三権分立の基礎が形作られていった。それ以降、合衆国憲法は、何度も修正条項を付加し、立憲的憲法としての発展を遂げてきている。1865年には、修正第13条によって **I** を定め、1868年には、修正第14条によって公民権、デュープロセス（適正手続き）および法の下での平等などを定めた。1919年には、**K** も修正第18条として定められたりしたが、その翌年には、修正第19条により、性別を理由とした選挙権の否定や制限がなされてはならない旨が定められた。なお、最も新しい合衆国憲法の修正条項は、上院議員および下院議員の報酬を変更する法律の効力発生時期を次の下院議員選挙後とする旨を定めるべく、**L** 1992年に付加された修正第27条である。

問A 下線部Aに関連して、20世紀において成文の憲法典を有していなかった国はどれか。

1. 日本
2. フランス
3. イギリス
4. イタリア

問B **B** に当てはまる数字はどれか。

1. 700
2. 800
3. 900
4. 1000

問C 下線部Cの説明として誤っているものはどれか。

1. 教会が国王から自由であることを確認した。
2. 国王の決定のみでは、戦争時における新たな課税を行うことができない旨を定めた。
3. ロンドン市が交易の自由を有し、関税について自ら決定することができることを認めた。
4. 治安維持のため、国王の決定のみにより、臣民に対して逮捕・拘禁、財産の没収を行うことが認められた。

問D 下線部Dに関連する説明として誤っているものはどれか。

1. 一般には、国家権力を立法権・司法権・行政権の3つの権能に分立させ、それらを担う機関の相互牽制によって国民の自由や権利を保障するシステムをいう。
2. その考え方は、フランス人権宣言の中においても示されている。
3. モンテスキューは、イギリスの政治状況や制度をもとに、その考え方の重要性を説いた。
4. 14世紀にフランスで招集された三部会の仕組みが近代における三権分立の考え方の基礎となった。

問E 下線部Eに関して、その起草のための委員会に加わっていない者はどれか。

1. トマス=ペイン
2. トマス=ジェファソン
3. ベンジャミン=フランクリン
4. ジョン=アダムズ

問F 下線部Fに関連して、同規約のもとで連合会議に認められていた権利として誤っているものはどれか。

1. 貨幣鑄造権
2. 徴税権
3. 条約を締結する権利
4. 宣戦と講和を行う権利

問G 下線部Gに関連して、アメリカ連邦政府に関する説明として誤っているものはどれか。

1. 初代の財務省の長官は、ハミルトンである。
2. 国務省は合衆国の外交政策を担当する行政機関である。
3. 合衆国憲法の制定後、国防総省が直ちに設置された。
4. フーヴァーは、商務省の長官に在任していたことがある。

問H 下線部Hに関連する説明として誤っているものはどれか。

1. 連邦最高裁判所は、自らが違憲立法審査権を有する旨の判決を下し、現在に至っている。
2. 第二次世界大戦後、連邦最高裁判所は、ブラウン対教育委員会事件において、公立学校において人種隔離を行うことを違憲とする判決を下した。
3. 連邦最高裁判所は、ニューディール政策における重要法案であり、1933年に制定された農業調整法や全国産業法についていずれも合憲であるとの判決を下し、同政策を後押しした。
4. 現在の連邦最高裁判所の所在地はワシントンD.C. である。

問I I に当てはまる語はどれか。

1. 移民の人権
2. 南北の統一
3. 自由貿易
4. 奴隷制の廃止

問J 下線部Jに関連して、1910年代後半には、中米メキシコにおいても革命を通じて新たな憲法が制定された。同憲法の説明として誤っているものはどれか。

1. 労働者の権利保護が内容として含まれていた。
2. 新たな憲法は、サバタの主導により制定された。
3. 政教分離が内容として含まれていた。
4. 大統領の権限の強化が行われた。

問K K に当てはまる語はどれか。

1. 移民法
2. 禁酒法
3. 中立法
4. 社会保障法

問L 下線部Lに関連して、同年に基本合意に達し、参加国の首脳による署名がなされたNAFTAに参加していない国はどれか。

1. パナマ
2. カナダ
3. メキシコ
4. アメリカ

Ⅳ 次の文章を読み、空欄 1 ～ 13 は、記述解答用紙の所定欄に適切な語句を記入せよ。下線部14については、両国の国交正常化にいたる経緯と背景を100字以内で説明しなさい。なお、句読点・数字も1字と数える。

19世紀以降のヨーロッパでは自由貿易がひろがりをみせた。イギリスの経済学者 1 は主著『経済学および課税の原理』のなかで自由貿易の利点を強調した。イギリスの農業保護関税に反対する彼の主張は1846年の 2 につながった。1860年には 3 が締結され国際条約の上でも自由貿易体制が確立した。自由貿易によって列強のあいだでは工業・金融などの面で相互依存が深まったため、多くの人々がよもや世界戦争はおこらないだろうと考えた。実際、1898年にスーダン南東部で英仏が衝突した 4 や、仏独がタンジールなどで対立した事件に際しては、全面戦争に発展する前に外交的な解決が図られた。フランスの経済学者パシーは貿易の障壁が撤廃されれば諸国民間の誤解は解消されると考えて、自由貿易の立場から平和運動を推進し 5 の創設者デュナンとともに第一回の 6 を受賞している。

第一次世界大戦の勃発はこうした楽観論を打ち砕いた。パシーらの平和運動はエリートだけのもので、自由貿易の恩恵に与れない一般の大衆にはナショナリズム、民族主義や貿易における 7 主義が浸透していた。生物学におけるダーウインの考え方などを人間社会に当てはめて変質させた 8 も世論に影響を与えた。第一次世界大戦直前の国際労働運動の連合体だった 9 も世界戦争には対応できなかった。自由貿易は世界大戦を阻止できなかったのである。

第一次世界大戦ののち、とりわけ世界恐慌以降の列強は経済のブロック化をおしすすめた。イギリスの 10、フランスの金ブロックなどは自国の植民地・勢力圏を確保するために特惠関税を課した。1936年に策定されたナチスの 11 では食料と軍事物資を自給する構想が掲げられた。このときは自由貿易の欠如が世界大戦につながったといえるだろう。

第二次世界大戦後には、1948年に貿易自由化をめざす関税と貿易に関する一般協定（GATT）が発効し、関税引下げをめぐる交渉がくり返されたが、各国は国内の雇用や開発を優先して交渉は難航し、米ソ両陣営のあいだの貿易も限られていた。朝鮮戦争とベトナム戦争では長期にわたる戦闘がくりひろげられたが、米ソが直接に対決する戦争はおこらず、ケネディ政権期の 12 の際も核戦争は瀬戸際で回避された。

現代の世界ではグローバリゼーションが進展し、自由貿易は当然のルールとみなされ、GATTの参加国が1986年から開始した 13 と呼ばれる多角的貿易交渉では世界貿易機関の設置も決められた。アメリカと中華人民共和国のあいだの貿易は巨大な規模に上っている。しかし、世界戦争の懸念はなくなったといえるだろうか。ここでみた自由貿易と戦争の複雑な関係は歴史の教訓として一考に値するだろう。

[以下余白]

